

経済の動き*

【全体感】

東北地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しい状況が続いている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。設備投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。住宅投資は、減少している。こうした中、生産は、弱い動きとなっている。雇用・所得環境をみると、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱めの動きとなっている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回った。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事を主体に高水準にあるほか、昨年の台風19号の災害復旧工事等もあり、緩やかに増加している。

設備投資は、弱めの動きとなっている。

6月短観（東北地区）における2020年度の設備投資をみると、製造業を中心に維持・更新投資や将来の需要増加を見込んだ能力増強投資がみられる一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた投資の先送りや、非製造業において新規出店等の投資が一服する動きがみられることから、全体では前年を下回る計画となっている。

個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。

主要小売業販売額は業態ごとにばらつきが大きい。内訳をみると、スーパーやドラッグストアは増加している一方、百貨店やコンビニエンスストアは、一頃に比べ持ち直しているが、減少している。耐久消費財をみると、家電販売額は増加に転じたものの、乗用車販売は大幅に減少している。

この間、サービス消費などでの新型コロナウイルス感染症の影響は続いている。

住宅投資は、貸家着工が減少しているほか、持家着工に新型コロナウイルス感染症の影響がみられており、減少している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、弱い動きとなっている。

主要業種別にみると、生産用機械等は、総じて増加しているが、一部に弱い動きがみられている。電子部品・デバイスは、弱めの動きとなっている。輸送機械は、減少した後、足もと持ち直しの動きがみられている。食料品は、低調な動きとなっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱めの動きとなっている。

労働需給は求人が弱めの動きとなっているほか、雇用者所得も下押し圧力がみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格の下落などから、前年を下回った。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準ながらも増加基調にある。

6. 金融情勢

預金動向をみると、個人・法人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
